

令和6年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市

令和6年3月8日、高島市今津町にある高島総合家畜市場で令和6年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、雌10頭、去勢22頭の合計32頭でした。

午前中に開催された共進会において、最優秀賞および「おうみ」和牛繁殖協議会長賞に甲賀市の岡崎充志さん出品の「圭介」が選ばれました。本牛は283日齢・体重311kg・体高115.2cm・胸囲161.0cmと大変発育良好で、体躯の幅・伸びとも充実しており、資質も大変優れた素晴らしい子牛でした。

午後からは表彰式の後、せりが行われました。雌は最高592,000円・最低238,000円・平均価格345,500円、去勢は最高661,000円・最低124,000円・平均価格439,909円でした。



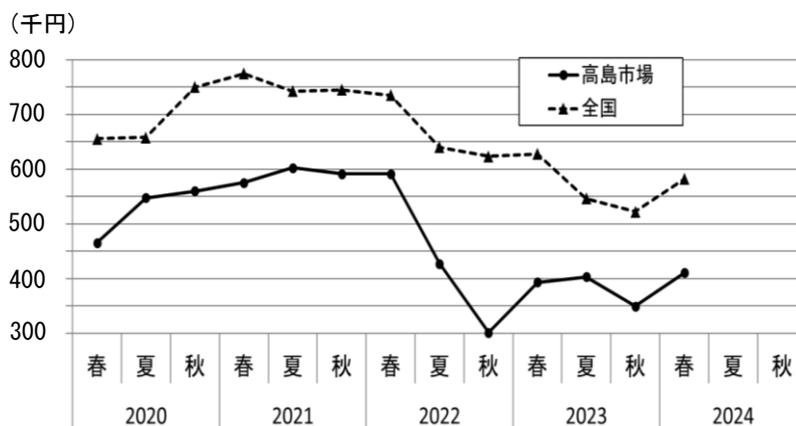
せり市の様子

前回の市場（令和5年11月21日開催）と比較すると、平均価格は約6万円（約35万円→約41万円）高くなりましたがまだ厳しい状況が続いています。

・インボイス制度について

令和5年10月1日から消費税の「適格請求書保存方式」（いわゆるインボイス制度）が導入されました。令和5年秋季市場から「媒介者交付特例」に基づき、出品者（委託者）がインボイス発行事業者である場合、高島市場（受託者）が出品者に代わってインボイスの発行を行っています。

「媒介者交付特例」の適用にあたって、高島市場もインボイス発行事業者の登録を行い、新たに消費税納入の義務が生じることとなりました。そのため出品者の皆様に対して、販売手数料（セリ落とし価格の3%）の10%相当額を消費税額として納入いただくことになりました。畜産を取り巻く情勢が厳しい中、新たな負担をお願いすることは心苦しいことではありますが、購買者の皆様に安心して来場いただくための環境整備の一貫としてご理解いただきますよう、お願いいたします。（藤井）



高島総合家畜市場子牛価格の推移